(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6850829号
(P6850829)
(45)発行日　令和3年3月31日(2021.3.31)　(24)登録日　令和3年3月10日(2021.3.10)

(51)Int.Cl.　F I
*E04F 15/024 (2006.01)*　E04F 15/024 601C

請求項の数 5　(全 16 頁)

(21)出願番号　特願2019-122370(P2019-122370)
(22)出願日　令和1年6月28日(2019.6.28)
(65)公開番号　特開2020-51244(P2020-51244A)
(43)公開日　令和2年4月2日(2020.4.2)
審査請求日　令和1年6月28日(2019.6.28)
(31)優先権主張番号　107133833
(32)優先日　平成30年9月26日(2018.9.26)
(33)優先権主張国・地域又は機関
台湾(TW)
(31)優先権主張番号　107133832
(32)優先日　平成30年9月26日(2018.9.26)
(33)優先権主張国・地域又は機関
台湾(TW)

(73)特許権者　519237959
林　志濱
台湾新北市板橋區華江里２９鄰文化路一段３６６號２３樓
(74)代理人　100082418
弁理士　山口　朔生
(74)代理人　100167601
弁理士　大島　信之
(74)代理人　100201329
弁理士　山口　真二郎
(74)代理人　100220917
弁理士　松本　忠大
(74)代理人　110001151
あいわ特許業務法人

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ベース材

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
フレーム上に設置し、かつ板片をその上に設置して上げ床を形成するために用いられるベース材であって、該ベース材が、少なくとも１つの第１区域と、少なくとも１つの第２区域を含み、
前記第１区域が細長い形状であり、
前記第２区域が第１方向に沿って前記第１区域と相隣し、互いに連結して設置され、かつ、前記第１方向に沿う２辺のうちの少なくとも一辺が、前記第１方向に対して直角な第２方向で前記第１区域と位置のずれが形成され、前記第１方向に沿う２辺のうちの少なくとも一辺において、前記第１区域と前記第２区域に前記第２方向で段差が形成され、
前記ベース材の周縁に複数の支持辺縁が外側に向かってそれぞれ凸設され、複数の該支持辺縁が前記第１区域と前記第２区域の相互に連結されていない辺縁に沿って形成され、かつ複数の前記支持辺縁の高さが前記第１区域および第２区域の高さより高い、ことを特徴とする、ベース材。
【請求項２】
前記ベース材が、板体及び該板体の下方に設置された強化底板で構成され、かつ前記第１区域と前記第２区域が前記板体に設けられた、ことを特徴とする、請求項１に記載のベース材。
【請求項３】
前記板体に２つの前記第１区域及び１つの前記第２区域が設置され、２つの前記第１区

域が前記第１方向に沿って相互に間を隔てて設置され、前記第２区域が間を隔てた２つの前記第１区域の間に設置された、ことを特徴とする、請求項２に記載のベース材。
【請求項４】
前記板体に２つの前記第１区域及び２つの前記第２区域が設置され、２つの前記第１区域が前記第１方向に沿って相互に間を隔てて設置され、２つの前記第２区域が該第１方向に沿って相互に間を隔てて設置され、かつ２つの該第１区域と２つの該第２区域が前記第１方向に沿って相互に間を隔てて、前記第１区域と互い違いに設置された、ことを特徴とする、請求項２に記載のベース材。
【請求項５】
前記ベース材が、板体及び該板体の下方に設置された強化底板で構成され、少なくとも１つの第１区域と少なくとも１つの第２区域が前記板体に設けられ、かつ複数の前記支持辺縁が前記板体と前記強化底板の辺縁を湾曲させて形成された、ことを特徴とする、請求項１に記載のベース材。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、可動式で、交互にずらせたパターンを形成したベース材に関する。
【背景技術】
【０００２】
上げ床は、通常、室内空間に応用され、室内の下地床と高低の落差がある空間を形成し、下地床と上げ床の間に配線・配管を行うことができる。
上げ床は、一般に、フレームとベース材で構成され、フレームが室内下地床上に設置され、ベース材がフレーム上に設置され、該フレームを通じてベース材と室内下地床の間に高低の落差がある空間を形成する。
【０００３】
従来の上げ床におけるベース材は、例えば特許文献１に開示された「上げ床の構造改良」のように、多くが方形の形状を呈し、複数の上げ床を室内下地床上に同時に敷設したとき、完全な平面を構成し、上げ床の平坦度の要件を達成することができる。
しかしながら、上記従来の上げ床におけるベース材はほとんどが方形を呈するため、室内下地床上に敷設したとき、全体的に単調な応用となり、例えば木材の床板や大理石の床板で表現するような交互にずらせたパターンを表現することができない。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】台湾特許公告第Ｍ５３０３３３号明細書
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
本発明が解決しようとする課題は、可動式で、かつ交互にずらせたパターンを形成したベース材を提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明のベース材は、フレーム上に設置し、かつ板片をその上に設置して上げ床を形成するために用いられ、少なくとも１つの第１区域と、少なくとも１つの第２区域を含み、前記第１区域が細長い形状であり、前記第２区域が第１方向に沿って前記第１区域と相隣し、互いに連結して設置され、かつ、前記第１方向に沿う２辺のうちの少なくとも一辺が、前記第１方向に対して直角な第２方向で第１区域と位置のずれが形成され、前記第１方向に沿う２辺のうちの少なくとも一辺において、前記第１区域と第２区域に前記第２方向で段差が形成される。
【０００７】

一実施例において、前記ベース材が、板体及び該板体の下方に設置された強化底板で構成され、かつ前記第１区域と前記第２区域が前記板体に設けられる。

【０００８】

一実施例において、前記板体に２つの前記第１区域及び１つの前記第２区域が設置され、２つの前記第１区域が前記第１方向に沿って相互に間を隔てて設置され、前記第２区域が間を隔てた２つの前記第１区域の間に設置される。

【０００９】

一実施例において、前記板体に２つの前記第１区域及び２つの前記第２区域が設置され、２つの前記第１区域が前記第１方向に沿って相互に間を隔てて設置され、２つの前記第２区域が該第１方向に沿って相互に間を隔てて設置され、かつ２つの該第１区域と２つの該第２区域が前記第１方向に沿って相互に間を隔てて、前記第１区域と互い違いに設置される。

【００１０】

本発明の別のベース材は、フレーム上に設置し、かつ板片をその上に設置して上げ床を形成するために用いられ、少なくとも１つの第１区域と、少なくとも１つの第２区域を含み、前記第１区域が細長い形状であり、前記第２区域が第１方向に沿って前記第１区域と相隣し、互いに連結して設置され、かつ、前記第１方向に沿う２辺のうちの一辺が、前記第１方向に対して直角な第２方向で前記第１区域と位置のずれが形成され、前記第１方向に沿う２辺のうちの一辺において、前記第１区域と前記第２区域に前記第２方向で段差が形成され、前記ベース材の周縁に複数の支持辺縁が外側に向かってそれぞれ凸設され、複数の該支持辺縁が前記第１区域と前記第２区域の相互に連結されていない辺縁に沿って形成され、かつ複数の前記支持辺縁の高さが前記第１区域および第２区域の高さより高い。

【００１１】

一実施例において、前記ベース材が、板体及び該板体の下方に設置された強化底板で構成され、少なくとも１つの第１区域と少なくとも１つの第２区域が前記板体に設けられ、かつ複数の前記支持辺縁が前記板体と前記強化底板の辺縁を湾曲させて形成される。

【００１２】

本発明の上げ床は、室内下地床上に架設され、該室内下地床との間に高さの差を形成するために用いられ、ベース材と、少なくとも２つの板片と、フレームと、少なくとも２つの飾り板を含み、少なくとも１つの前記板片が前記第１区域上に設置され、少なくとも１つの前記板片が前記第２区域上に設置され、前記フレームが、前記ベース材の架設に用いる矩形フレームと、該矩形フレームの各端の隅にそれぞれ設置される４つの取付け固定片と、前記室内下地床上に設置され、各取付け固定片をそれぞれ支持するために用いる脚座部とを備え、前記矩形フレームが２つの相互に間を隔てた横棒及び２つの相互に間を隔て、かつ２つの前記横棒と相互に直角に設置された縦棒で構成され、前記飾り板が、前記縦棒上を被覆する位置決め部及び該位置決め部上から突出した飾りストリップ部を備え、該飾りストリップ部と前記位置決め部の間に落差が形成され、かつ１つの前記飾りストリップ部が前記第１区域の前記第２区域から遠い辺縁上に配置され、かつ前記第１区域と相隣し、もう１つの前記飾りストリップ部が前記第２区域の前記第１区域から遠い辺縁上に配置され、かつ前記第２区域と相隣し、かつ前記飾り板の上面と前記板片の上面とが同一平面上にある。

【００１３】

一実施例において、前記ベース材の周縁に複数の支持辺縁が外側に向かってそれぞれ凸設され、複数の前記支持辺縁が前記第１区域と前記第２区域の相互に連結されていない辺縁に沿って形成され、かつ前記支持辺縁の高さが前記第１区域及び前記第２区域の高さより高い。

【００１４】

一実施例において、前記各取付け固定片が、中央支持部と、該中央支持部の２つの相対する側部にそれぞれ位置する２つの側辺支持部により構成され、前記脚座部が前記中央支持部に固定され、前記縦棒の一端が前記中央支持部上に固定され、前記横棒の一端が前記

側辺支持部上に設置される。

【００１５】

一実施例において、前記各側辺支持部上に収容槽が凹設され、該横棒の一端が該収容槽内に取り付けられる。

【００１６】

一実施例において、前記各飾り板の該位置決め部は、下面が開口した冂形の断面を有し、前記飾りストリップ部と相隣する前記第１区域の辺縁が相隣する前記飾り板の位置決め部上に載置され、前記落差内に配置される。

【００１７】

一実施例において、前記各飾り板の該位置決め部は、下面が開口した冂形の断面を有し、前記飾りストリップ部と相隣する前記第２区域の辺縁が相隣する前記飾り板の該位置決め部上に載置され、前記落差内に配置される。

【００１８】

本発明の別の上げ床は、地面上に架設され、該上げ床と地面に高さの差を形成するために用いられ、ベース材と、少なくとも２つの板片と、フレームと、少なくとも２つの飾り板セットを含み、少なくとも１つの前記板片が前記第１区域上に設置され、少なくとも１つの前記板片が前記第２区域上に設置され、前記フレームが、前記ベース材の架設に用いる矩形フレームと、該矩形フレームの各端の隅にそれぞれ設置される４つの取付け固定片と、地面上に設置され、かつ各取付け固定片をそれぞれ支持するために用いる脚座部とを備え、前記矩形フレームが２つの相互に間を隔てた横棒及び２つの相互に間を隔て、かつ２つの前記横棒と相互に直角に設置された縦棒で構成され、各飾り板セットが、各縦棒上を被覆する下飾り板、該下飾り板の上方を被覆する上飾り板を備え、前記下飾り板が前記縦棒の上方を被覆するカバー部と、該カバー部から上へ延伸された位置規制部を備え、該位置規制部が前記カバー部から上に突出し、前記下飾り板が、前記位置規制部上を包み込んで被覆する。

【００１９】

一実施例において、前記ベース材の周縁に複数の支持辺縁が外側に向かってそれぞれ凸設され、複数の前記支持辺縁が前記第１区域と前記第２区域の相互に連結されていない辺縁に沿って形成され、かつ複数の前記支持辺縁の高さが前記第１区域及び第２区域の高さより高い。

【００２０】

一実施例において、前記位置規制部が上面から下に向かって凹設された位置規制溝を備え、前記上飾り板内部の前記位置規制溝に対応する位置に、該位置規制溝内に挿入可能な位置規制ストリップが設置される。

【００２１】

一実施例において、前記ベース材の前記第１区域と前記第２区域が相互に連接されていない辺縁の上下端部隅に、それぞれ外側に向かって延伸された位置決め片が形成され、かつ各位置決め片が相隣する前記縦棒上に載置される。

【００２２】

一実施例において、前記各縦棒上の前記位置決め片と相隣する箇所に、可動固定片が設置され、該可動固定片が前記縦棒上に枢設され、かつ前記位置決め片上の押当位置と、該押当位置から退避した位置との間を回動可能であり、前記稼動固定片は、前記押当位置にある時、前記ベース材の位置決め片を前記縦棒上に押し付けて固定できる。

【００２３】

一実施例において、前記各取付け固定片が、中央支持部と、該中央支持部の２つの相対する側部にそれぞれ位置する２つの該側辺支持部により構成され、前記脚座部が前記中央支持部に固定され、前記縦棒の一端が前記中央支持部上に固定され、前記横棒の一端が前記側辺支持部上に設置される。

【００２４】

一実施例において、前記各側辺支持部上に収容槽が凹設され、該横棒の一端が該収容槽

内に取り付けられる。
【発明の効果】
【００２５】
本発明のベース材及び該ベース材を用いた上げ床は、従来技術と比較して次の利点を備えている。
１．本発明のベース材は、第１方向で相隣する第１区域と第２区域間に、第２方向で段差を形成してあるので、複数枚のベース材を相隣させて組み立て、ベース材上に複数の板材を敷設すると、複数の板片にベース材上で木材の床板や大理石の床板を互い違いに排列したときに生じる特有の交互にずらせたパターンを表現させることができ、上げ床全体の使用上の変化性を高め、かつ上げ床全体の美観を向上することができる。
２．本発明のベース材は、フレーム上に設置したとき、空間を高くすることができるとともに、遮音、防湿の効果を備え、さらにフレーム上でめくり上げ、ベース材と板片の洗浄及び配線を便利に行うことができる。このほか、板片をベース材から取り外し、板片の交換を簡単に独立して行うことができる。
【図面の簡単な説明】
【００２６】
【図１】本発明の実施例１を示すベース材の平面図である。
【図２】本発明の実施例１を示すベース材と板片の分解斜視図である。
【図３】本発明の実施例１を示すベース材の板片敷設時における斜視図である。
【図４】本発明の実施例２を示すベース材の平面図である。
【図５】本発明の実施例２を示すベース材と板片の分解斜視図である。
【図６】本発明の実施例２を示すベース材の板片敷設時における断面図である。
【図７】本発明の実施例３を示すベース材の板片敷設時における斜視図である。
【図８】実施例２及び実施例３のベース材を用いた上げ床の平面図である。
【図９】本発明の実施例に係るフレームの分解斜視図である。
【図１０】本発明の実施例に係るフレームの要部分解斜視図である。
【図１１】本発明の実施例に係るフレームの断面図である。
【図１２】本発明の実施例に係るフレームの要部斜視図である。
【図１３】本発明の実施例４を示すベース材の平面図である。
【図１４】本発明の実施例４を示すベース材の要部拡大平面図である。
【図１５】本発明の実施例４に係る別のフレームの分解斜視図である。
【図１６】本発明の実施例４に係る別のフレームの断面図である。
【図１７】本発明の実施例４に係る別のフレームの要部分解斜視図である。
【図１８】本発明の実施例４を示すベース材の接続部分において、位置決め片が押当位置にある状態の拡大平面図である。
【図１９】本発明の実施例４を示すベース材の接続部分において、位置決め片が押当位置から退避した状態の拡大平面図である。
【発明を実施するための形態】
【００２７】
以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。なお、本発明は、実施例に限定されないことはいうまでもない。
【００２８】
（実施例１）
図１から図３は、本発明の実施例１を示す。
本発明のベース材１０は、後述するフレーム上に敷設され、ベース材１０上に複数の板片２０が載置され、後述する上げ床を構成するために用いられる。
該フレームは室内下地床上（図示しない）に設置され、ベース材１０と室内下地床の間に高低の落差がある空間を形成するために用いられる（これは従来技術であるため、ここでは説明を省略する）。
【００２９】

ベース材１０に少なくとも１つの細長い形状の第１区域１１及び１つの細長い形状の第２区域１２が設置される。本実施例においては、ベース材１０に２つの第１区域１１及び２つの第２区域１２を設置してあり、２つの第１区域１１が第１方向Ｘ上に相互に間を隔てて設置され、２つの第２区域１２も同様に第１方向Ｘ上に相互に間を隔てて設置され、そのうち１つの第２区域１２が２つの第１区域１１の間に設置され、もう１つの第２区域１２がそのうち１つの第１区域１１の側辺と相隣して設置され、かつ相隣する各第１区域１１と各第２区域１２が相互に連結される。また、第１方向Ｘに対して直角な第２方向Ｙ上で各第２区域１２と２つの第１区域１１に位置のずれが形成され、２つの第１区域１１と２つの第２区域１２の第１方向Ｘに沿う２辺のうち少なくとも１つの辺に第２方向Ｙ上で段差１３が形成される。

本実施例において、第１区域１１の第１方向Ｘに沿う二辺と第２区域１２の第１方向Ｘに沿う二辺に、それぞれ第２方向Ｙにおいて段差１３が形成される。

【００３０】

本実施例において、各第１区域１１及び各第２区域１２上に板片２０を載置することができる。各第１区域１１と各第２区域１２の面積は同じであり、かつ各第１区域１１と各第２区域１２上に載置される各板片の面積が同じであるため、各第１区域１１と各第２区域１２に第２方向Ｙ上で位置のずれが形成されたとき、相隣する各板片２０の間に互い違いの排列を形成させることができる。

【００３１】

また、複数の板片２０を各第１区域１１と第２区域１２上に効果的に固定できるようにするために、ベース材１０上に複数の固定孔１４が設置され、板片２０がベース材１０上に設置されるとき、複数のネジ部材（図示しない、該ネジ部材はネジである）を利用し、ネジ部材をベース材１０の底部から固定孔１４に穿通させた後、板片２０と相互に螺合し、板片２０をベース材１０上に効果的に固定することができる。

【００３２】

（実施例２）

以下、図４から図６に基づいて、実施例２を説明する。なお、実施例１と同様の部分については説明を省略し、主に異なる部分について説明する。

本実施例において、ベース材３０の周縁にさらに複数の支持辺縁３５が設けられる。複数の支持辺縁３５は、第１区域３１と第２区域３２の相互に連結されていない辺縁に沿って設けられ、かつ相互に連結されておらず、同時に、複数の支持辺縁３５の高さが第１区域３１及び第２区域３２の高さより高い。

また、互いに相隣する各第１区域３１と第２区域３２の間にさらに支持部３６が凸設され、各支持部３６の高さが支持辺縁３５の高さと同じである。各第１区域３１と各第２区域３２が複数の支持辺縁３５及び少なくとも１つの支持部３６により囲まれる。

【００３３】

ベース材３０は、板体３７及び板体３７の下方に位置する強化底板３８により構成される。そして、複数の第１区域３１と複数の第２区域３２が板体３７に設けられ、かつ複数の支持辺縁３５が板体３７と強化底板３８の辺縁を湾曲させて形成される。これによりベース材３０及び支持辺縁３５の構造強度を効果的に高めることができる。

【００３４】

本実施例において、各板片２０をより効果的にベース材３０上に固定できるようにするため、各板片２０の辺縁に支持辺縁３５と支持部３６を被覆するカバー区域２１が形成される。カバー区域２１は板片２０の裏面を切り欠いて形成され、カバー区域２１の厚みは各板片２０の厚みより小さい。

これにより、板片２０が各第１区域３１と各第２区域３２にそれぞれ設置されたとき、前述のネジ部材を通じて各板片２０を各第１区域３１と各第２区域３２上に固定できるほか、各板片２０のカバー区域２１で支持辺縁３５と支持部３６上を被覆し、ベース材３０を完全に遮蔽することができる。

【００３５】

（実施例３）

図７及び図８に基づいて実施例３を説明する。なお、実施例１または実施例２と同様の部分については説明を省略する。

本実施例において、ベース材４０の第１区域４１と第２区域４２は、第１方向Ｘに沿う１つの辺のみに第２方向Ｙで段差４３が形成され、別の一辺は直線状に配列される。これにより、ベース材３０、４０を室内下地床上に架設するとき、敷設されたベース材３０、４０の周縁が室内下地床の端縁に沿うよう、第１方向Ｘ上で辺を整える良好な効果を備え、第２方向Ｙ上でも辺を整える良好な効果を具備することができる。同時に、各板片２０に互い違いに排列した効果を表現させ、上げ床の美観を高めることができる。

【００３６】

次に、図８から図１２に基づき、実施例２及び３のベース材３０，４０を用いて室内下地床上に設置する上げ床５０について説明する。

上げ床５０は、室内底板の面積に応じた数の複数のベース材３０、４０、ベース材３０、４０上に載置される複数の板片２０、ベース材３０、４０を支持する複数のフレーム６０、及び複数の飾り板７０で構成することができる。

【００３７】

ベース材３０、ベース材上に載置される板片２０、フレーム６０及び飾り板７０の関連構造について説明する。

フレーム６０は、ベース材３０の設置に用いる矩形フレーム６１、矩形フレーム６１の各端角部にそれぞれ設置される４つの取付け固定片６２、室内下地床上で支持するために用いる４つの脚座部６３で構成される。

【００３８】

各取付け固定片６２は脚座部６３上にそれぞれ取り付けられ、かつ各脚座部６３が独立して高さを調整でき（従来技術であるため、ここでは説明を省略する）、各取付け固定片６２の高さを調整することができる。

矩形フレーム６１は２つの相互に間を隔てた横棒６１１及び２つの相互に間を隔て、かつ２つの横棒６１１と相互に直角に設置された縦棒６１２で構成される。各取付け固定片６２が１つの縦棒６１２と１つの横棒６１１の一端にそれぞれ連接され、かつ縦棒６１２と横棒６１１が取付け固定片６２上で相互に直角に設置され、２つの横棒６１１及び２つの縦棒６１２が矩形フレーム６１を構成する。そして、ベース材３０を矩形フレーム６１上に架設して、複数の板片２０を２つの第１区域３１と２つの該第２区域３２上にそれぞれ設置することができる。

各縦棒６１２と各横棒６１１は、各取付け固定片６２上に主にネジ部材で固定され（従来技術であり、図示しておらず、ここでは説明を省略する）、縦棒６１２、横棒６１１及び取付け固定片６２の間を効果的に組み付けることができる。

【００３９】

各飾り板７０は各縦棒６１２上を被覆する。各飾り板７０は、縦棒６１２上を被覆するよう、下面が開口した概ね冂形の断面を有する位置決め部７１、及び、位置決め部７１上に突出した飾りストリップ部７２を備え、飾りストリップ部７２と位置決め部７１の間に落差が形成される。

また、１つの飾りストリップ部７２が、ベース材３０、４０の一端部に位置する第１区域３１の第２区域３２から遠い辺縁上に配置され、かつ第１区域３１と相隣し、もう１つの飾りストリップ部７２が、ベース材３０、４０の他端部に位置する第２区域３２の第１区域３１から遠い辺縁上に配置され、かつ第２区域３２と相隣する（図８）。かつ、位置決め部７１の上に板片２０が載置され、２つの飾りストリップ部７２の上面と、その両側に設置された２つの板片２０の上面とが同一平面上にある（図１１）。

【００４０】

取付け固定片６２は、中央支持部６２１と、中央支持部６２１の２つの相対する側部にそれぞれ位置する２つの側辺支持部６２２で構成され、縦棒６１２の一端が中央支持部６２１上に固定され、横棒６１１の一端が側辺支持部６２２上に固定される。

また、各側辺支持部６２２上にさらに収容槽６２３が凹設され、横棒６１１の一端を収容槽６２３内に収容でき、取付け固定片６２上に固定された縦棒６１２の高さを横棒６１１の高さより高くすることができる。

【００４１】

このため、複数のフレーム６０、複数の飾り板７０、複数のベース材３０、４０及び複数の板片２０を利用して比較的大面積の上げ床５０を構成するとき、第１方向Ｘに沿って延伸され、かつ相隣する複数のベース材３０、４０の間に、飾りストリップ部７２の上面が露出され、飾りストリップ部７２の上面が２つの相隣するベース材３０、４０の間に挟持され、上げ床５０全体に複数の板片２０が互い違いに配列された効果を表現するほか、複数の飾りストリップ部７２により異なる視覚的美観を表現することができる。

【００４２】

（実施例４）

図１３から図１９に基づいて、実施例４を説明する。なお、実施例１から実施例３のいずれかと同様の部分については説明を省略し、主に異なる部分について説明する。

本実施例において、ベース材８０は、第１区域８１と第２区域８２が互いに連結されていない辺縁の上下端部隅が、それぞれ外側に延伸されて位置決め片８９が形成される。これら位置決め片８９と、第１区域８１及び第２区域８２の辺縁に突出された支持辺縁８５は互いに連接していない。

【００４３】

実施例４のベース材８０を用いた上げ床は、複数のベース材８０と、ベース材８０上に設置される複数の板片２０と、複数のフレーム６０と、複数の飾り板セット９０で構成される。本実施例において、複数のベース材８０、複数の板片２０及び複数のフレーム６０は、図８から図１２に示すものと構造が同じであり、ここでは説明を省略する。

各飾り板セット９０は、各縦棒６１２上を被覆する下飾り板９１及び下飾り板９１の上方を被覆する上飾り板９２をそれぞれ具備して構成される。

下飾り板９１は、縦棒６１２上方を被覆するカバー部９１１と、カバー部９１１から上に延伸された位置規制部９１２を備え、位置規制部９１２がカバー部９１１から上に突出し、位置規制部９１２に上面から下に向かって位置規制溝９１３が凹設され、位置規制溝９１３が被覆している縦棒６１２の伸びる方向に沿って延伸される。

上飾り板９２は位置規制部９１２上を包み込むように被覆し、かつ上飾り板９２の内部の位置規制溝９１３に相対する位置に、位置規制溝９１３内に挿入できる位置規制ストリップ９２１が設けられる。

【００４４】

このため、各下飾り板９１で各縦棒６１２上方を被覆すると、各下飾り板９１は位置規制部９１２を通じて第１方向Ｘに沿って相隣する２つのベース材８０の間を相互に隔て、かつ、これら２つのベース材８０の辺縁をカバー部９１１にそれぞれ押し当て、さらに上飾り板９２が位置規制部９１２上を被覆し、同時に位置規制ストリップ９２１が位置規制溝９１３内に挿入され、これにより、上飾り板９２が下飾り板９１上でずれることがなく、上飾り板９２が下飾り板９１上に効果的に位置決めされる。

【００４５】

第２方向Ｙに沿って相隣する２つのベース材８０は相互に隣接して設置され、これら２つのベース材８０の端部隅の位置決め片８９が相隣して設置され、かつ、１つの縦棒６１２上に載置される。

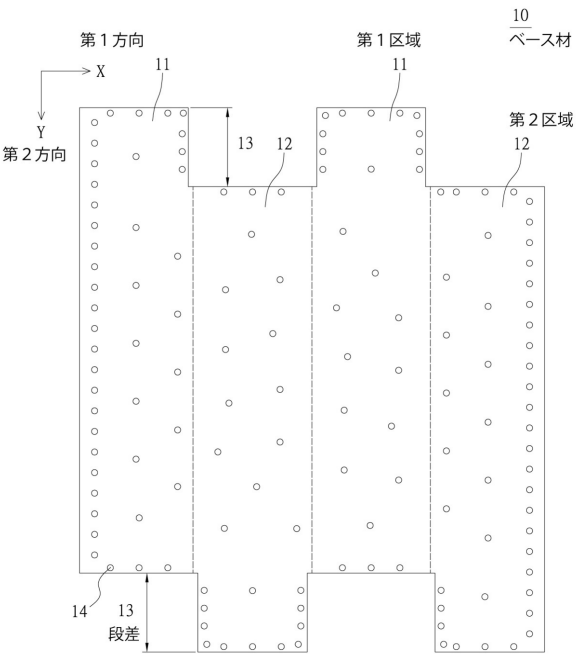
複数のベース材８０をフレーム６０上に架設してよりしっかりと固定されるようにするために、縦棒６１２上の２つの位置決め片８９と相隣する位置に可動固定片６１３が設置され、可動固定片６１３はネジ部材６１４により縦棒６１２上に枢着される。

第２方向Ｙで相隣して設置される２つのベース材８０がフレーム６０に架設された後、可動固定片６１３の方向を回動させることで、可動固定片６１３を２つの相隣する位置決め片８９上の押当位置に当接させ、可動固定片６１３で２つの相隣する位置決め片８９上を同時に押さえてから、ネジ部材６１４を回動させて締め込み、可動固定片６１３を確実

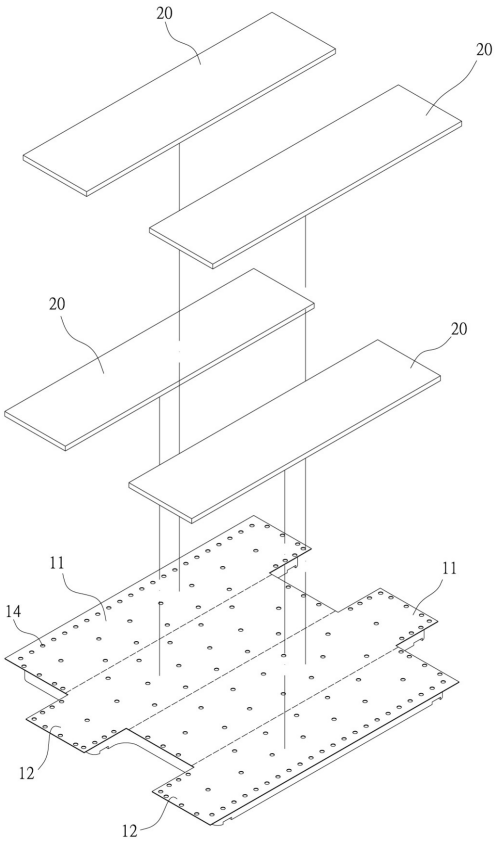
に縦棒６１２上に固定することができる。
【００４６】
これにより、ベース材８０が縦棒６１２上に効果的に固定され、ベース材８０と縦棒６１２の間に間隙が生じないようにすることで、騒音の発生を効果的に抑えることができる。同時に、複数の飾り板セット９０で可動固定片６１３の上方を被覆でき、可動固定片６１３を遮蔽できるほか、同時に上げ床上で複数の飾り板セット９０により異なる視覚的美観の変化を形成することができる。
【００４７】
本発明は、上記実施例に限定されない。
例えば、実施例２では、板体３７に２つの第１区域３１と２つの第２区域３２が設けられているが、２つの第１区域と１つの第２区域を設け、２つの第１区域を第１方向に間を隔てて配置し、２つの第１区域の間に第２区域を設置することもできる。
また、いずれの実施例における各技術的事項を他の実施例に適用して実施例としても良い。
【００４８】
本発明のベース材１０、３０、４０、８０及び上げ床５０は、従来技術と比較して、複数のベース材１０、３０、４０、８０上に組み付けられる複数の板片２０に木材床板や大理石板に特有の交互にずらせたパターンの変化を表現させることができ、上げ床５０全体の外観の多様性と美観が高められ、同時に、ベース材１０、３０、４０、８０はフレーム６０上に設置したとき、空間を高くすることができ、また遮音、防湿の効果を備え、さらにフレーム６０上でめくり上げ、ベース材１０、３０、４０、８０と板片２０の洗浄及び床の配線を便利に行うことができる。
また、板片２０をベース材１０、３０、４０、８０から取り外し、板片２０を独立して交換できるため、修理効率を大幅に高め、修理コストを抑える効果を達成することができる。
【符号の説明】
【００４９】
１０、３０、４０、８０　ベース材
１１、３１、４１　第１区域
１２、３２、４２　第２区域
１３、４３　段差
１４　固定孔
２０　板片
３５　支持辺縁
３６　支持部
３７　板体
３８　強化底板
５０　上げ床
６０　フレーム
６１　矩形フレーム
６１１　横棒
６１２　縦棒
６１３　可動固定片
６１４　ネジ部材
６２　取付け固定片
６２１　中央支持部
６２２　側辺支持部
６２３　収容槽
６３　脚座部
７０　飾り板

７１　位置決め部
７２　飾りストリップ部
８１　第１区域
８２　第２区域
８５　支持辺縁
８９　位置決め片
９０　飾り板セット
９１　下飾り板
９１１　カバー部
９１２　位置規制部
９１３　位置規制溝
９２　上飾り板
９２１　位置規制ストリップ

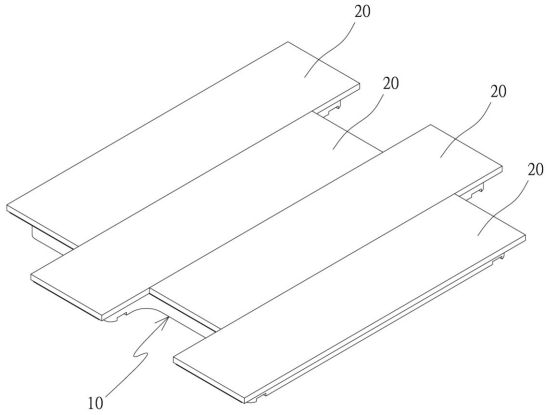
【図１】



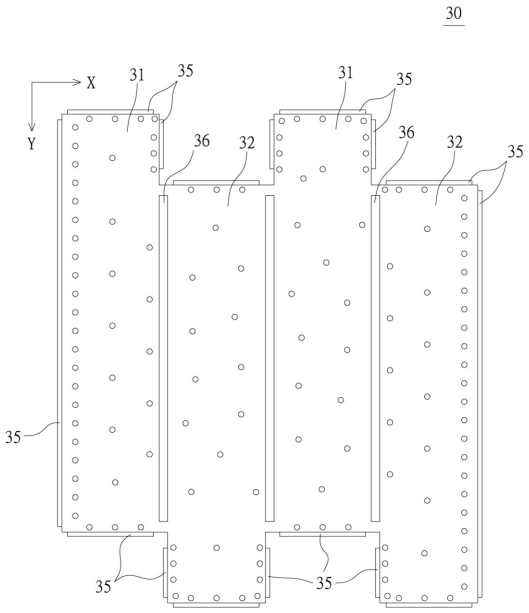

【図２】



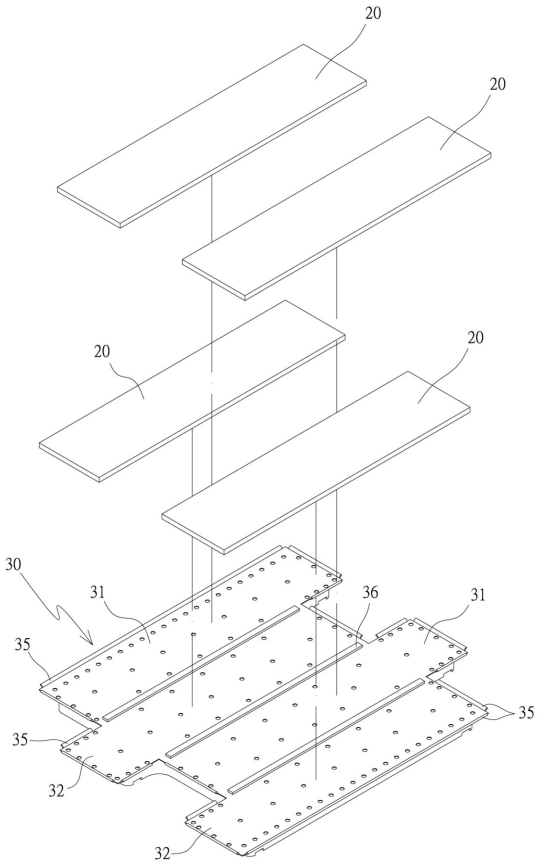
【図３】


20
20
20
20
10

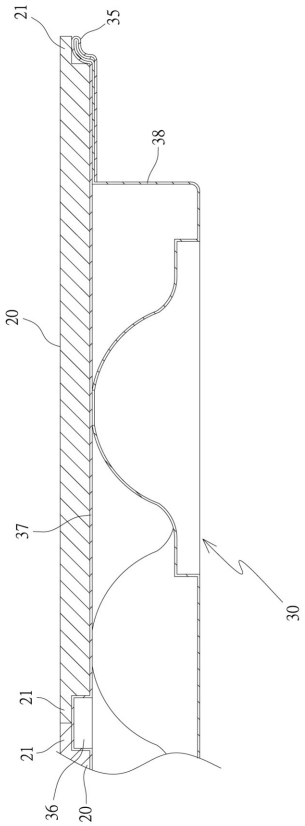
【図４】


30
X
Y
31
35
31
35
36
32
36
32
35
35
35
35

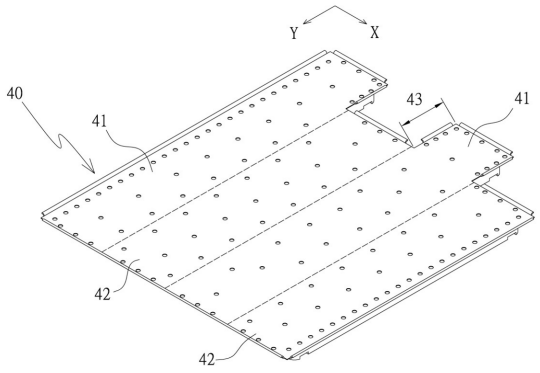
【図５】


20
20
20
20
30
31
36
31
35
35
35
32
32

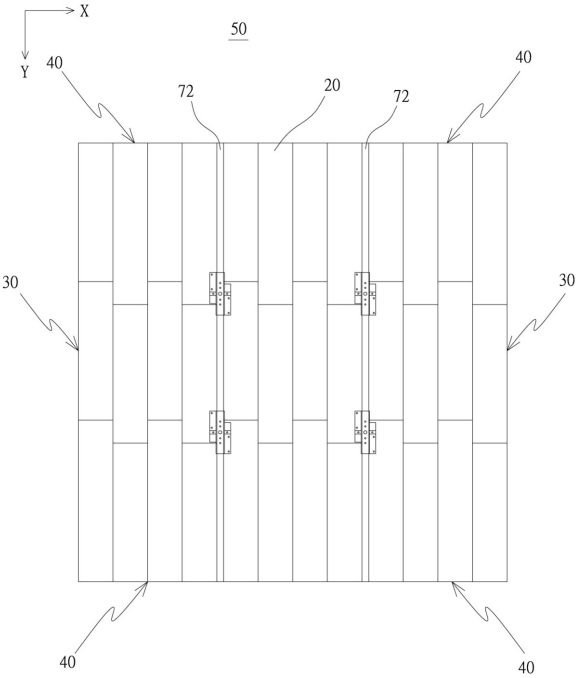
【図６】


21
35
38
20
37
30
21
21
36
20

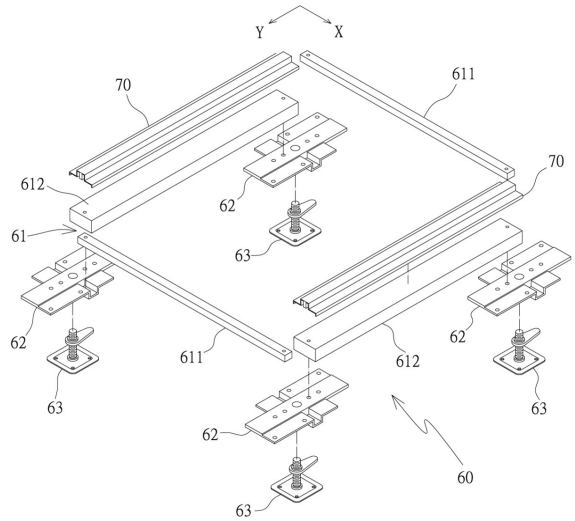
【図７】


Y
X
40
41
43
41
42
42

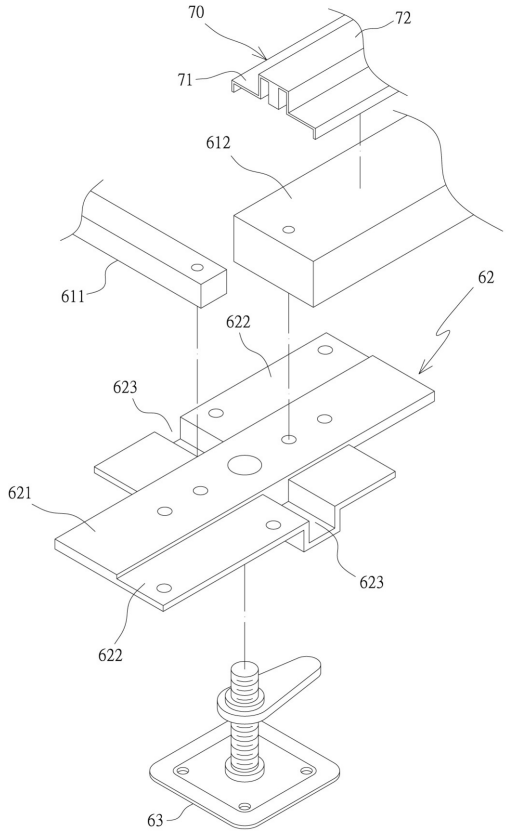
【図８】


X
Y
50
40
72
20
72
40
30
30
40
40

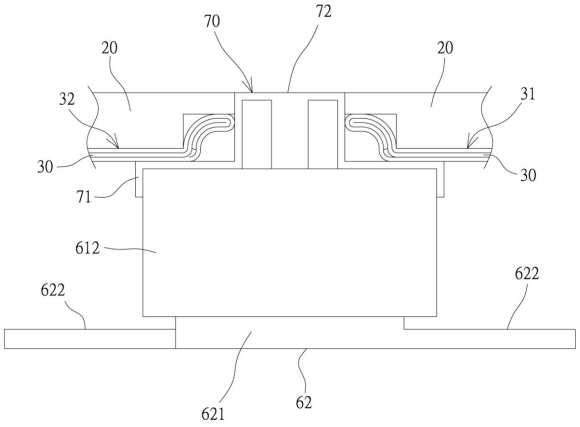
【図９】


Y
X
70
611
612
70
61
62
63
62
611
612
62
63
63
62
63
60

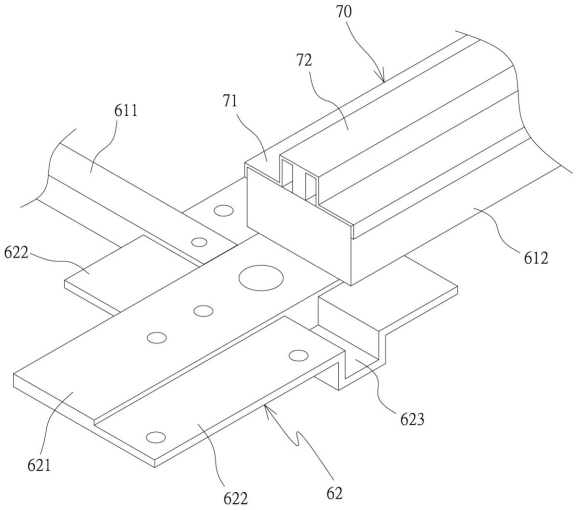
【図１０】


70
72
71
612
611
62
622
623
621
623
622
63

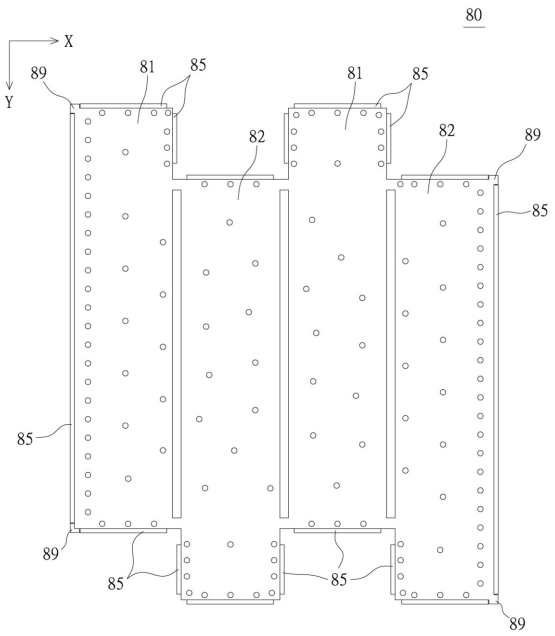
【図１１】



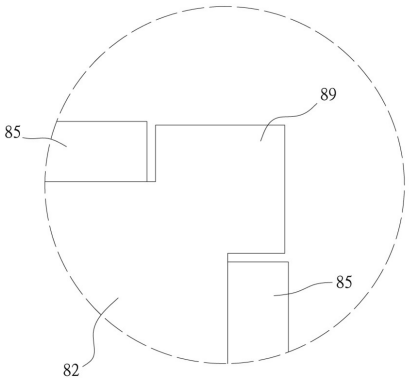

【図１２】



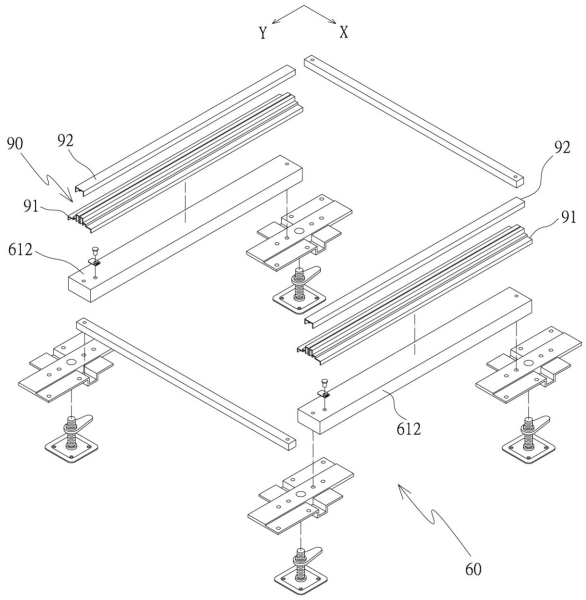

【図１３】



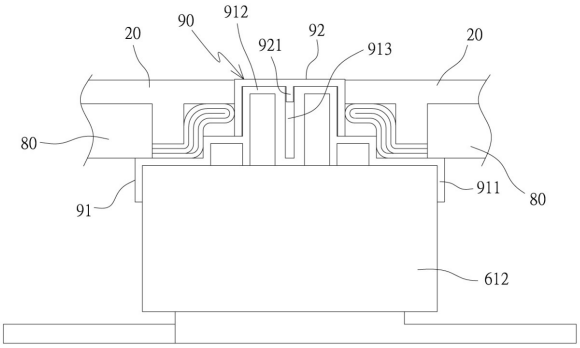

【図１４】



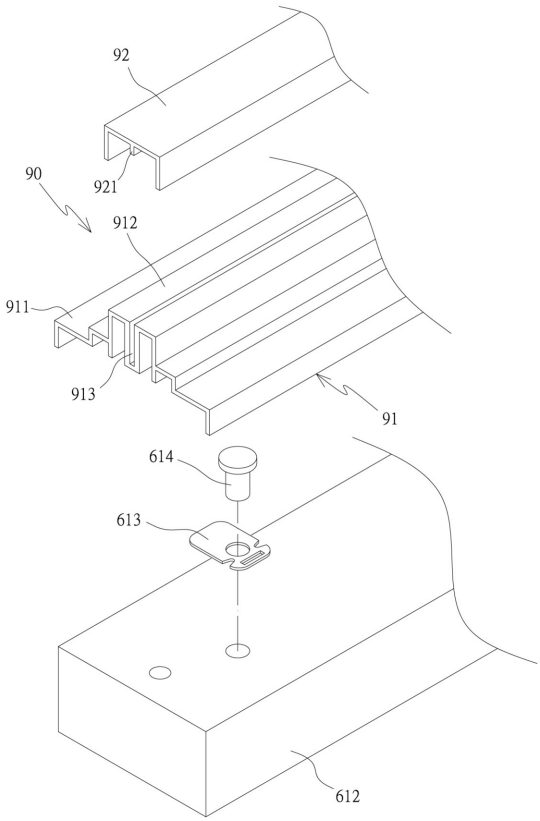
【図１５】



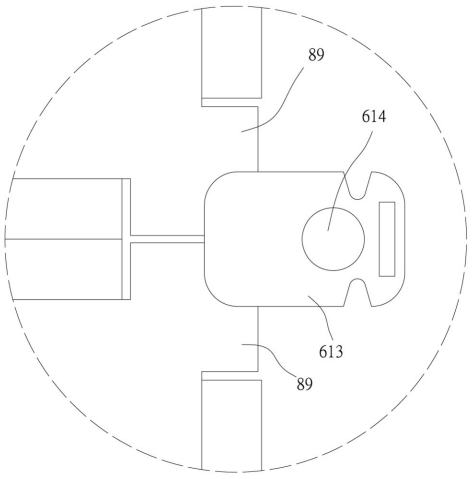

【図１６】



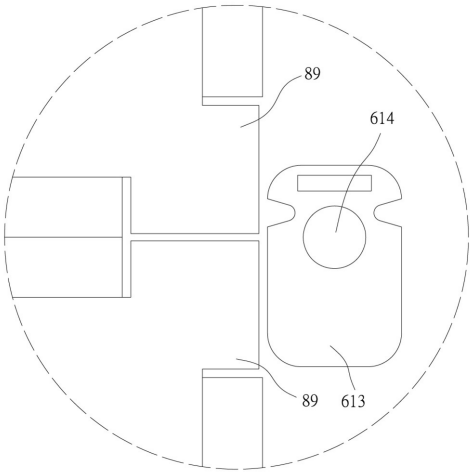

【図１７】




【図１８】



【図１９】



フロントページの続き

(72)発明者　林　志濱
台湾新北市板橋區華江里２９鄰文化路一段３６６號２３樓

審査官　油原　博

(56)参考文献　実開平０６－００４２４５（ＪＰ，Ｕ）
特開２０１１－１０２４９２（ＪＰ，Ａ）
特開平０７－１２７２３４（ＪＰ，Ａ）
米国特許出願公開第２０１０／００７１３０８（ＵＳ，Ａ１）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｅ０４Ｆ　１５／００－１５／２２